



榎 政信 議員 … 3 件の一般質問

観光・防災などの広域連携をどう進めるか

町長：新たな発展と可能性を生む西胆振地域との連携にしっかり取り組む

榎 ニセコ町とのニセコ観光局の設置や蘭越町を含めたニセコ観光圏の現状と今後の計画を伺う。

(仮称)羊蹄山麓・西胆振地域広域連絡会議に対する考えや意気込みを伺う。また、民間や住民の関わりをどう考えるか。

新幹線や高速道路I・Cにより観光や交通のハブとなる本町への考えや取り組みを伺う。

町長 観光局の設置は、合意形成までには至らず、進展していない。当面、喫緊の課題に対し協議していく。観光圏は、整備実施計画に基づいて進めている。

札幌南区・白老町を含む西胆振地域との連携会議は、圏域に新たな価値を生み出すため、観光・食・自然・人など様々な地域資源を生かす取り組みが行われると考えている。災害援助はもとより様々な分野での取り組みが必要であり、民間事業者や観光協会などに対しても働きかけが出てくる。観光や交通のハブ拠点

として、本町の役割が重要なものとなる。今後、周遊ルートの確立や広域観光のPRなどに取り組むべく各町村や関係機関に働きかけていきたい。

榎 ニセコ町と合意形成できない障害は何か。課題を乗り越えなければ、広域連携は難しいのではないか。

西胆振地域との防災連携では、千歳市と協定を結んでおり、苫小牧市も受入れマニュアルを策定している。他の市との協議はどうなのか。

新幹線駅周辺に駐車場やバスターミナルを設置することで、二次交通の



二次交通の拠点として期待される倶知安駅

拠点となる。交通ハブに對する具体的な考えは。

町長 観光局は、民間団体も含んだ組織構成を想定しているので、権限や財源の在り方が整理できていない。様々な角度から検討をしている。

防災連携は、千歳市の他、苫小牧、室蘭、伊達市と協定を締結している。登別市は年内に避難場所が設定される。

西胆振との連携は、4万人の圏域となる。札幌南区は、札幌駅への時間は倶知安駅と大差がない。今後の連携により関係を密にできる。新たな発展と可能性があるので、しっかり取り組みたい。

榎 乳幼児や小学生など子育て中の保護者の病気や急用ができた時、子どもを預かったり送り迎えを支援する人を結びつけるファミリーサポートセンター事業。統合保育所に拠点を設置す

榎 民間賃貸住宅の多い家賃が、住みにくさや定住阻害の原因にもなっている。遮音や断熱性能の高い民賃住宅を町で借上げ、

榎 民間賃貸住宅の多い家賃が、住みにくさや定住阻害の原因にもなっている。

住みやすい住宅を求める声にどう答えるか

榎 民間賃貸住宅の多い家賃が、住みにくさや定住阻害の原因にもなっている。

遮音や断熱性能の高い民賃住宅を町で借上げ、

る案もある。取組みの考えを伺う。

町長 具体的な計画は無い。町内のNPO法人から実施への打診があった。事業自体の勉強も含めて来年度から5カ年の中で整備する方針を立てている。

榎 倶知安町子どもプランで子育て支援活動支援事業として明記されている。5年後といわず、準備を進めるべきではないか。

榎 倶知安町子どもプランで子育て支援活動支援事業として明記されている。5年後といわず、準備を進めるべきではないか。

課長 センター事業では、行政は橋渡し役。民間で実施できる部分が多まり、需要があれば、前倒しをしてでも進めて行きたい。

8月末より見直し作業を始め、懇話会などを開催し、2月には見直し案を策定する予定。

更に家賃補助をすることで低家賃化を図り、人口流出を阻止できないか。町長の見解を伺う。

町長 この2年間だけでも2000戸近い民賃住宅が増えている。住情報が少なく、収入に合った家賃の住宅を選択できていない。町のホームページに住宅情報を載せ、選択肢を増やしたい。

若者や子育て世代には、民賃住宅を活用した住宅セーフティネットの構築が必要と考えている。

高齢者の住居には、介護や福祉との連携も必要で、住生活基本計画の見直しの中で検討していきたい。

8月末より見直し作業を始め、懇話会などを開催し、2月には見直し案を策定する予定。

8月末より見直し作業を始め、懇話会などを開催し、2月には見直し案を策定する予定。